

クルマの未来を
考えよう

ASIMOと一緒に
ポーズで

Yamagata
Hiroo

著作・翻訳家。1964年、東京生まれ。東京大学およびMIT修士課程修了。某大手シンクタンク勤務の傍ら、経済、ITなどの分野で活躍。『要するに』（河出文庫）、『たかがパロウス本』（大村書店）など多数。http://cruel.org/jindex.html

Ferdinand
Yamaguchi

ドイツ・ボン生まれ。半導体・電子部品専門のマーケットアナリスト。クルマに造詣が深く、美しくインテリジェンスの高い女性への積極的な投資を励行する恋愛投資家でもある。著書に『恋愛は投資である』（扶桑社）など。

山形浩生 × フェルディナント・ヤマグチ 対談

クルマの未来はどうなる!?



未来をイメージさせるASIMOの姿



「股関節のつくりが非常に複雑で、ひざとか足首の動きの制約をほぼすべてそこで吸収しているので変な感じ」と、山形氏。だが、二人とも間近で見て感動

山形浩生(以下Y)・・・ロボットといえば、うちでお掃除ロボットを使っている。
フェルディナント・ヤマグチ(以下F)・・・へえー。使えるの？アレ。
Y・・・意外と使えるよ。靴下と電線は天敵だけど。あるとき、イスが動いてるからびっくりしたんだけど、よく見たら、お掃除ロボットがひっかかって、イスを引きずって動いていた。
F・・・ハハハ。ASIMOは人間そっくりに作ってあるけど、産業用ロボットは、全く人間の形をしていない

クルマとの出会いは失敗も山ほどあった

本誌コラム連載中の「日本の知性」山形浩生と、「クルマ×恋愛のことならオレに任せろ!」のフェルディナント・ヤマグチがクルマの未来について語り合った。クルマメーカーで「未来」といえば、やっぱりホンダとASIMOでしょ!と、いうことで、HONDA Welcome Plaza AOYAMAにて舌鋒鋭い二人が論じあった。二人が思うクルマの未来とは!? スピード感とエッジの効いたトークがフロアに響いた。

取材協力/本田技研工業 撮影/FIATFREAK

けどね。
Y・・・いつの世にもロボットは、「ヒトの形に近づけるべきか」が議論になる。「足なんざ飾りです! えらい人には……」
お二人のクルマとの出会いは?
F・・・はじめに自分で買ったのは、中古のRX-7。どうしたら安く良いのが買えるかで、つてをたどりまくった。
Y・・・大学に入ってすごいひねてたもんだから、「渋滞している日本でクルマなど時代遅れだ」と思っていた。でも「最低限の身体能力があることを証明するために、免許ぐらいは取れ」と、親に言われまして(笑)。
F・・・ウソ! ボクはそもそも4月生まれというのもあって高校で取った。
Y・・・実は、教習所に行くのに、第三京浜を自転車で走っちゃったの。
F・・・えっ?
Y・・・そしたら、パトカーに追いかけてられて「ここは自動車専用道だから」って。パトカーに乗せられてさ。「次回は大回りするように」って。所内で左右間違えて逆走したこともあったよ。それから、父親のクルマ借りてプロック塀に穴を開けてしまい、塀の持ち主にも謝りにいって。いろいろ社会勉強しました。



「先日、取材でインサイトずっと借りてたんですよ」と、ヤマグチ氏。山形さんに広報マンよろしく、インサイトの説明をしていただいたのはさすが



インサイトにぜひ興味を！

クルマの「楽しさ」を伝えられれば、盛りあがるのに……(山形浩生)

発展途上国のクルマ事情

F…なんかガタさん、すげえな(笑)。
Y…バイクは中型免許持ってるけど。
F…日本がアメリカのクルマに追いついたのより何倍も早く中国が追いつくよ。ボクの本業、半導体の世界でも「日の丸半導体」とかナショナルイズム出す人がいてさ、今は非常にナンセンス。クルマも同じで、そんなこといつてられないよ。
Y…これからは市場を発展途上国に移すことは必須。途上国の人はお金が多かったらバイク買って、次にクルマ買ってという流れはあるから。こ

ないだ行っていたラオスでは、バス利用者が減っているのが悩みでね、みんな、バイクを買っちゃう。スーパーカブが2000ドルくらいだったけど、中国産は400ドルくらい。しかも、バイク持っていないと女の子に相手にされないから、頑張るって買うの。
F…モーターリゼーションのはじまりだ。車社会から見ればめでたいですよ。
Y…一方で、都市計画の観点からすると、道が混んで嫌なんですけどね。それと、首相が「エコに配慮」をアピールしたくて、中国から電気自動車買ったの、バスの替わりに。でも1日充電して、2時間しか走れ

人くらいのチームでサハラ砂漠越えて、フランスの中古車を陸送する仕事なんだって。途中で半分つぶれるけど、残り半分の売り上げで十分元がとれるとか。あくまで伝説だけれどね。それから、モロッコだと、ルノーが主にヨーロッパ向けに年産40万台の新工場を建設中。
F…元東欧諸国？ ルーマニアとか？
Y…元ルーマニアで作っていた、ロガンっていうチアアのクルマをモロッコで作ってヨーロッパ向けに出す。
F…後進ヨーロッパで、でしょ？
Y…いや、全ヨーロッパ。40万の8割をヨーロッパに出すと言っている

Yamagata Hiroo



ないんですよ。ものすごい電気自動車の評判が悪くなっちゃった。
F…中国といえば、アフリカ圏に年間2000億ODAしているからね。日本が中国にODAしている金額と同じ。
Y…中国は、目立つものが好きなの。巨大スタジアムとか、高速道路とかそういうのばっかりにお金つこむ。日本は地味なやつ、下水道とか。世銀がとってきた仕事で工事を請け負っただけなのに、「中国が全てやっています」という顔をする。あと、数年前にいったガーナでは、ベコベコのルノー。周り全部旧仏領だけれど、ガーナだけ唯一英領。でも、クルマはフランスから入っているの。昔から、バックパッカーの間では伝説のバイクがあつて。100

ので30万台以上を出荷するの。東欧で作ってるものを持ってきて、安く出す。見るからに安っぽいクルマなんだけれど、ファッショニストとか気にしなければ十分。
F…走るし、壊れないし。
Y…日本のクルマみたいな、三次元の板金加工なんてしなくていいから。今、クルマ売れない、といわれつつ、チープな方面では結構強気な動きもあるんです。
若者のクルマ離れとクルマX恋愛の相関性
F…今の若者の車離れをどうするかっていう問題は大きい。仕事で広報車借りるけど、所詮借り物じゃない？「所有欲」って、もしかしてボクらの世代が最後かも。今の若い人

たちはあらゆるものに所有欲がないのよ。
Y…合理的っちゃあ、合理的なのかな。
F…クルマはもはや恋愛の道具ではない、という説がありますが？
F…バリバリ道具。それはボクが毎夜実証していますから(笑)。
Y…なんでクルマだと、モテるの？
F…圧倒的に近い二人の距離感ですね。大事なものは、女性を気遣う運転マナー。ドアをきちんと開けてあげるとか、無理な割り込みや、他の車を入れさせないというセコイ真似をしない、とか。女性はそういうのを見てるんです。運転をトータルで見ると、環8、246なら246、フォーメーションがあるわけで。それを的



Ferdinand Yamaguchi

確に把握していれば、入れてあげるのは余裕なの。結果的には20台も30台も前にいて「荒くないのに、早い」と。それはスキルが必要なんだけど。

Y: なるほど。

次世代エネルギーと次代のクルマ社会

— 次世代エネルギーはどうですか？

F: ソーラーを使つての発電、これは間違いない。こないだ慶応大学のユリーカを作つてらつしやる清水先生にインタビューしたのね。その中でエネルギーペイバックタイムの話が出て、初期の頃の太陽電池は未来永劫チャラにはならない、ついで

いつの時代でも、クルマは恋愛の道具だ…(フェルディナント・ヤマグチ)



つて、ゴム、鉄、ガラス、プラスチック、さらに最近ではニッケルやリチウムを使つているわけで。そんなのいくらガソリンの消費量が少ないっていったつて、比較にならない。

Y: これまでの日本の自動車の売り方の矛盾もあつたわけよ。寿命の長いはずのクルマを、3年で買い換えなさい、つて。

F: バイオ燃料は、石油が安くなつちやつたんで今ひとつだなあ。

Y: 本当に石油の値段に左右されてしまふよね。まあ、それが、再生可能エネルギーが中途半端な証拠でもあるんだけれど。石油に関しては、新しい油田は見つかると、今まで溜まっていたところから吸い上げられ

う話だったの。でも、今は一年半とか二年でチャラになるつていう説が有力。そもそもシリコンで作つてインゴットを引き上げているだけで、原子力発電所一個分くらいの電力がいるわけ。すごい電力使つてんのよ、半導体つてのは。

Y: じゃあノーシリコンですよ。

F: 薄膜ね。これ業界でCIGS、つていうんです。半導体を使わないの。

Y: 太陽電池はさ、バッテリー廃棄の方が問題だよ。

F: 廃棄とエネルギーコスト、環境負荷を考えると、軽自動車やフィットあたりに乗つている方が本当はエコかも。そもそも今乗つているクルマを徹底的に乗りつぶすのが一番環境には合理的。だつて、プリウスだ

りクルマは楽しいの。運転することも楽しいし、所有することも楽しいということを書き続けた。そういう啓蒙活動はやらないとね。

Y: 日本でもう少しクルマが売れるようにするには、メディアの力も大事なの。昔はスペック競争ばかりだつたけど、よく考えたら、自分にとっては些末な話なのよ。むしろ、乗っている楽しさを表現してほしい。イギリスの「5thギア」つていうTV番組なんかは、クルマ乗らない人でも見て面白。楽しさをもうちょっと見せてあげると一般の人も

る。技術は進んでいるからね。

メディアの自主規制がつまらなくしている

Y: 別媒体でGMや禁煙運動について書いたら、広告の関係でNGにされたことがある。クルマの記事も、規制されることが多い?

F: 別に。阿つて書く必要はないの。クルマ雑誌が売れないのは、気骨のある記事がないから。それに、自動車評論に関しては、オンラインでされた組織なんかもあつて、役得とか、しがみつきもあるよ。

Y: 文壇でもそうだけど、既得権益守りに行くと、その世界は途端につまらなくなつちゃうもんだよね。

F: クルマに関しては、売れるかどうかには興味なくて、やっぱ

クルマの未来は明るいよな? ASIMO!!



振り向いて、クルマ業界も盛り上がるはず。

F: 書き手も、批判を恐れないこと。悪評だつて評、ですから。何より辛いのは無視されること。

Y: おつしやるとおり。理想のクルマつてある?

F: ボクは、やつぱりバリバリ速い車。

Y: 楽しいという意味で三菱のアイはかなり良かったと思う。FIAT 500をにおわせる感じでき。実用性だけの箱のかたまりじゃなくてもいけるんだ、つて気づいたよ。

F: クルマはやつぱり楽しいんです。

Y: 楽しさを伝えられれば、クルマの未来は明るい、ですよ。